

平成28年度決算 事業等説明資料

(単位：円)

会計名	水道事業会計					
設置目的	安全で安心な水の供給					
決算	項目		決算額			主な増減内訳・理由
			H28	H27	増減	
	収益的 収 支 (税抜き)	収入①	355,324,677	358,877,634	△ 3,552,957	給水収益 △ 8,394,264 長期前受金戻入 △ 678,016 管路修繕費用保険金 +4,768,200
		支出②	321,858,075	321,922,136	△ 64,061	機構改革による人件費影響 △ 9,324,204 減価償却費 +9,519,447 企業債利息 △ 1,791,447
	純利益 (①-②)		33,466,602	36,955,498	△ 3,488,896	
	資本的 収 支 (税込み)	収入③	170,028,880	158,515,600	11,513,280	企業債 +9,200,000
		支出④	320,590,385	386,387,467	△ 65,797,082	建設改良費 △ 66,621,039 企業債償還金 +823,957
	収支不足額 (③-④)		△ 150,561,505	△ 227,871,867	77,310,362	
※ 収支不足額150,561,505円については、減債積立金30,000,000円、建設改良積立金20,000,000円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額14,832,608円及び損益勘定留保資金85,728,897円で補てんした。						
決算概要	【決算の特徴】 ・収益的収支については、滝馬浄水場の大規模改修完了に伴う減価償却費の増などがあったものの、給水収益の減、機構改革（部課制化）に伴う管理職職員1名の減による人件費の減等があり、収入、支出とも総額は減少した。 ・純利益については、上記の収入の減少などにより、前年度に比べ約3,489千円減の33,467千円となった。 ・資本的収支については、建設改良費の減により支出は減少となったが、前年度からの繰越事業に係る企業債の借入れをすべて今年度に行ったことなどから企業債が増となり、収入が増した。 【特記事項】 ・簡易水道事業との経営統合を控え、将来に向けた「安全で安心な水」の安定供給を図るため、昨年度に完成した滝馬浄水場の大規模改修事業に続き、滝馬配水池の施設改修を完了したほか、石綿管の布設替を積極的に実施した。 ・H28年度末の企業債残高は2,167,959千円（対前年度比+74,484千円）					
備考						
担当部・課・係	建設部 上下水道課 管理係	TEL	0772-45-1633	特-10		